

## ＜大会プログラム＞

### 1. シンポジウム・特別講演・懇親会

	2月27日(土)	2月28日(日)
午前	10:30 学生企画シンポジウム <sup>注1)</sup> ～12:00 〈義足アスリートにみる身体とテクノロジーの関係性〉 <div style="text-align: right;">(ライブ)</div>	9:00～ 国際交流委員会企画シンポジウム <sup>注3)</sup> 〈フィギュレーション社会学とスポーツ社会学研究の足跡をふりかえる〉 <div style="text-align: right;">(オンデマンド)</div>
午後	13:00 実行委員会企画シンポジウム <sup>注1)</sup> ～15:00 〈スポーツ文化を革新する新潮流とスポーツ社会学の「課題」〉 <div style="text-align: right;">(ライブ)</div> 15:30～ 第30回記念大会特別講演 <sup>注2)</sup> 〈高嶋航氏「スポーツ史と私」〉 <div style="text-align: right;">(オンデマンド)</div> 16:30 懇親会 ～18:30 <div style="text-align: right;">(ライブ)</div>	13:30 研究委員会企画シンポジウム <sup>注1)</sup> ～16:00 〈性の多様性をめぐるスポーツと権力〉 <div style="text-align: right;">(ライブ)</div>

注1)ライブで行わる「学生企画シンポジウム」「実行委員会企画シンポジウム」「研究委員会企画シンポジウム」につきましては、ライブを録画したものを下記の期間、配信いたします。

「学生企画シンポジウム」録画配信期間 2月28日(日)9:00～3月14日(日)23:59

「実行委員会企画シンポジウム」録画配信期間 2月28日(日)9:00～3月14日(日)23:59

「研究委員会企画シンポジウム」録画配信期間 3月1日(月)9:00～3月14日(日)23:59

注2)講演録画配信期間 2月27日(土)15:30～3月14日(日)23:59

質問受付期間 2月27日(土)15:30～2月28日(日)17:00

回答閲覧期間 3月10日(水)9:00～4月7日(水)23:59

注3)シンポジスト報告と討論 録画配信期間 2月28日(日)9:00～3月14日(日)23:59

討論視聴後の質問受付期間 2月28日(日)9:00～3月14日(日)23:59

討論視聴後の回答閲覧期間 3月24日(水)9:00～4月7日(水)23:59

(シンポジスト報告の一部は学会大会に先行して1月25日(月)～2月14日(日)まで配信し、シンポジストへの質問を受け付けました。2月28日(日)～3月14日(日)の質問受付は、討論視聴後のものとなります。)

## 2. 一般研究発表

大会開始後の2月27日(土)～3月14日(日)まで、閲覧および質問が可能です。質疑に対する回答閲覧期間は、3月24日(水)～4月7日(水)となります。

### 一般研究発表 セッション

S-1 <スポーツイベント> <u>小澤考人 氏</u>	S-2 <スポーツとコミュニティ> <u>前田和司 氏</u>	S-3 <ユーススポーツ> <u>甲斐健人 氏</u>	S-4 <スポーツとメディア、テクノロジー> <u>柏原全考 氏</u>
1. 談 イ 氏 2. 中澤篤史 氏他 3. 末包健人 氏 4. 武井陽太郎 氏	1. 舟山健一 氏 2. 秦 絵莉香 氏他 3. 笹生心太 氏 4. 岩本晃典 氏	1. 佐々木 肇 氏他 2. 日高裕介 氏他 3. 下窪拓也 氏 4. 魚住智広 氏	1. 山本夏生 氏 2. 白石 翔 氏他 3. 檜田美雄 氏 4. 西城黎一 氏
S-5 <スポーツと社会問題> <u>溝口紀子 氏</u>	S-6 <障害者スポーツ> <u>渡 正 氏</u>	S-7 <スポーツ社会学の方法> <u>金子史弥 氏</u>	S-8 <スポーツと身体> <u>迫 俊道 氏</u>
1. 新井野洋一 氏 2. 青野桃子 氏 3. 片桐夏海 氏 4. 熊安貴美江 氏他	1. 平賀 慧 氏 2. 植田 俊 氏他 3. 山崎貴史 氏	1. 張 寿山 氏 2. 多田 茂 氏 3. 原 祐一 氏	1. 平石貴士 氏他 2. 岩瀬裕子 氏 3. 倉島 哲 氏 4. 岡本純也 氏

## 3. 総会

総会は学会大会ホームページを用いた電磁的方法で開催いたします。詳細は、大会ホームページの「総会」をご覧ください。 <https://spsociology.org/soukai>

「総会資料の提示と質疑の受付開始」 2月27日(土)9:00～3月5日(金)17:00

「総会動画の配信と投票」 3月7日(日)9:00～3月13日(土)17:00

## <一般研究発表演題一覧>

### <スポーツ・イベント> 座長:小澤考人(東海大学)

- S-1-1: 談イ(関西大学大学院社会学研究科)  
20世紀初頭のスポーツイベントと鉄道の『郊外』戦略  
—箕有電軌(現阪急電車)に焦点をあてて—
- S-1-2: 中澤篤史(早稲田大学) 星野 映(早稲田大学)  
中学生・高校生年代の競技大会の変遷に関する資料検討  
—『日本アマチュアスポーツ年鑑』(1969-2002)を用いて—
- S-1-3: 末包健人(東海大学)  
日本における駅伝文化のローカルな基層  
—東葛飾地方中学校駅伝競走大会を事例に—
- S-1-4: 武井陽太郎(一橋大学大学院経営管理研究科博士課程)  
コミュニティづくりにおける100kmウォークの役割  
—「ふるさと岐阜清流ウォーク」の事例を通じて—

### <スポーツとコミュニティ> 座長:前田和司(北海道教育大学)

- S-2-1: 舟山健一(東北福祉大学)  
管理と自主性から問うチームマネジメント  
—東北福祉大学女子ソフトボール部での活動を手がかりに—
- S-2-2: 秦 絵莉香(立教大学コミュニティ福祉学研究科) 松尾哲矢(立教大学コミュニティ福祉学部)  
スポーツによる中間山村コミュニティ再編の可能性に関する研究  
—大分県玖珠郡玖珠町を事例として—
- S-2-3: 笹生心太(東京女子体育大学)  
「復興五輪」と被災地  
—「復興ありがとうホストタウン」に着目して—
- S-2-4: 岩本晃典(北海道大学大学院)  
スポーツ文化による「ライフスタイル移住」の諸相  
—3.11以降における宮崎県串間市のサーファー家族を事例に—

### <ユーススポーツ> 座長:甲斐健人(東北大学)

- S-3-1: 佐々木 肇(立教大学大学院コミュニティ福祉学研究科) 松尾哲矢(立教大学)  
少年野球指導者の指導態度・意識・行動に関する実証的研究
- S-3-2: 日高裕介(早稲田大学大学院スポーツ科学研究科) 小野雄大(早稲田大学スポーツ科学学術院)  
高校スポーツ強豪校の運動部における「強豪」の意味  
—指導者の〈語り〉にみる指導理念に着目して—
- S-3-3: 下窪拓也(東北大学大学院文学研究科博士課程後期)  
高校在学時の運動習慣が成人後の運動習慣に与える影響の検証  
—パネル調査データの分析から—
- S-3-4: 魚住智広(国際武道大学)

体育会系大学生の就職とTech企業のミスマッチ

—Sports-Techを事例に—

<スポーツとメディア、テクノロジー> 座長: 柏原全考(甲南女子大学)

- S-4-1: 山本夏生(一橋大学大学院博士後期課程)  
テレビニュースにおける外国人選手のメディア表象  
—2016年リオオリンピック期間中に放送された番組の内容分析を中心に—
- S-4-2: 白石 翔(環太平洋大学) 原 祐一(岡山大学)  
COVID-19による高校野球の無観客試合という経験
- S-4-3: 檜田美雄(神戸市看護大学)  
COVID-19下で高齢者が野球を応援するためにインターネットを活用する試み  
—野球遠隔応援実践の工夫としての独自実況とベンチ裏インタビュー—
- S-4-4: 西城黎一(奈良教育大学大学院修士課程)  
スポーツ審判の機械化に関する一考察  
—スポーツにおける誤審に着目して—

<スポーツと社会問題> 座長: 溝口紀子(日本女子体育大学)

- S-5-1: 新井野洋一(愛知大学地域政策学部)  
スポーツ社会病理の実相  
—パンデミック社会が不祥事をつくるという論理—
- S-5-2: 青野桃子(一橋大学大学院社会学研究科)  
自宅トレーニングの広がりから見る健康管理圧力の高まりと格差
- S-5-3: 片桐夏海(環太平洋大学)  
柔道指導者の感情管理戦略
- S-5-4: 熊安貴美江(大阪府立大学) 高峰修(明治大学)  
スポーツ環境におけるセクシュアル・ハラスメント認識因果モデルの検討

<障害者スポーツ> 座長: 渡 正(順天堂大学)

- S-6-1: 平賀 慧(筑波大学大学院)  
障害児体育の実践における「障害の非障害化」に関する研究
- S-6-2: 植田 俊(東海大学) 山崎貴史(北海道大学)  
障害者スポーツにおける〈支援〉の生成  
—ブラインドマラソンにおけるランナー—伴走者関係を事例として—
- S-6-3: 山崎貴史(北海道大学)  
パラリンピックによる開催都市のバリアフリー化とそのジレンマ

<スポーツ社会学の方法> 座長: 金子史弥(立命館大学)

- S-7-1: 張 寿山(明治大学・スフィーダ世田谷FC)  
スポーツ事業に適した組織制度に関する考察
- S-7-2: 多田 茂(順天堂大学大学院)

身体活動、フィットネス、健康に関してフィンランドとドイツの研究者により進められている国際比較研究 (FinGer 研究) を例とする国際比較研究の在り方についての一考察

S-7-3: 原 祐一 (岡山大学)

スポーツをめぐる EBPM の潮流とスポーツ社会学の役割

<スポーツと身体> 座長: 迫俊道 (大阪商業大学)

S-8-1: 平石貴士 (立命館大学) 三谷 舜 (立命館大学) 市井吉興 (立命館大学)

日本におけるパルクールの早期実践者たちについての事例報告

—スタイルの分化・ジム経営と教育・環境の用具化—

S-8-2: 岩瀬裕子 (東京都立大学)

「間合いが形成できない」という身体的経験に関する一考察

—「間合い」研究における共感から「共感」の地平へ—

S-8-3: 倉島 哲 (関西学院大学)

身体に対する規律権力と抵抗

—太極拳推手・スポーツ・ヨガの比較を通して—

S-8-4: 岡本純也 (一橋大学大学院経営管理研究科)

楽しみの探求の結果としての民俗舞踊の「伝承」

—沖縄県恩納村の盆踊り「エイサー」の事例を中心に—